



ワークショップ型授業を取り入れたふるさと学習

大館市立東館小学校 教諭 田村 秀人

1 はじめに

ソーシャルスキル教育や構成的グループエンカウンターの手法を授業の中に生かし、子どもたちが関わり合いながら学ぶ学習法としてとしてワークショップ型授業がある。このワークショップ型授業をふるさと学習の中に取り入れた実践事例について紹介したい。

2 ワークショップ型授業とは

○自由感のある「活動」を通して学ぶことで、関心・意欲・態度を基礎とした主体的な学びの力を育てる。上條晴夫編著(2005)「ワークショップ型授業で社会科が変わる」図書文化より

(1) 自由感のある「活動」とは…授業の中に、以下のような要素を取り入れること

- ①遊び・ゲーム的要素…ゲーム・クイズ・遊びなど
- ②表現・制作的な要素…作文・ロールプレイ・スピーチなど
- ③対話・話し合い的要素…ディベート・ランキングなど

例：物語を読み感想を書く。その後で、時間は10分間、必ず男女2名ずつ以上と、場所は教室内などときまりを決めて自由に移動させ1対1で紹介し合う。(国語の場合)

(2) 「ワークショップ型授業」の基本モデル

- ①説明：活動の目的、手順、約束、時間、場所を示す。(導入)
- ②活動：学習者が実際に活動をする。(展開)
- ③振り返り：体験的な学びを言葉にすること。(終末)



(紹介し合う子どもたち)

3 ふるさと学習①「4年総合」私たちふるさと比内探検隊

(1) 学習内容を決めるにあたって

- ①児童の実態…自分たちの住んでいる地域についてほとんど知らない。
- ②東館小学校の事情…三岳小・大葛小との統合、両地区の地域の教育力の積極的な活用
※キーワード：「打って出るふるさと学習」積極的に地域に出向き、そこで学習する。

(2) 学習の流れ □：ワークショップ型授業を展開したところ

①自分の住む地域のすてきなところ

お互いの地区のすてきなところの紹介し合い□

- ②東館地区探検
- ③三岳地区探検
- ④中間まとめ

大人になったら子どもに伝えたい東館地区ランキング□

- ⑤大葛地区探検
- ⑥まとめ(学習発表会での発表)

みんなが選んだランキングは、ぼくが気付かなかったことを書いていました。ぼくは、〇〇さんのなるほどと思いました。とんぶりのことや、五日市神社のことなどぼくが書いていないことを書いていて、それを書けばよかったなと思いました。

8人の友達と紹介し合いました。一番いいと思った人は〇〇さんです。理由は、自分の子どもに歴史に興味をもって欲しいと言っていたからです。

わたしは、〇〇さんのランキングで五日市の犬が産んだ子どもがロシアの大統領に選られたことを聞いてすごいなあとと思いました。ニュースでは見ていたけど、五日市の犬だとはじめて知りました。

子どもに伝えたいランキングを紹介し合った感想

| 子どもに伝えたいランキング | 選んだ理由 |
|------------------------|--|
| 第1位 523年ごろに建てられた大日堂 | 大日堂は523年ごろに建てられました。大日堂の柱は牛が運んだ木で作っています。古いのにとてもいかりしています。 |
| 第2位 昔の物がたくさんある魚沼 | 魚沼には、長い昔の物がたくさんあります。魚沼には、昔の物がたくさんあります。魚沼には、昔の物がたくさんあります。 |
| 第3位 中野城を建てた大葛 | 中野城は、三岳にある中野城を建てた大葛が建てた。とても古いことになりました。 |

ある児童のランキング

(3) 各地区探検の様子と児童の心に残ったこと、学習のまとめ

東館地区探検

独鈷大日神社神主の神成幸忠さん

- ・独鈷地区ができたのは2500年以上前の縄文時代。出土した土器から分かる。
- ・独鈷城は永正15年(1518 戦国時代)に浅利氏によって建てられた。浅利氏は山梨県から来た。
- ・大日堂は、523年ころできた。できた当時の建物は今の3倍の広さがあった。今の大日堂は1672年に建てられた。
- ・大日堂を作るとき、牛が木を運ぶ動力として大活躍した。そのため、たくさんの牛の絵を奉納している。

三岳地区探検

全應寺
中野城跡
三嶽山神社
八面沢貯水池
五日市神社
農村公園

中野在住の阿部清悦さん

- ・三岳という名前の由来は、地域のシンボルである赤沢、引立沢、大丹波という三つの山から。
- ・三岳地区には八面沢貯水池というダムがあること。
- ・中野七夕は中野太鼓の音で、虫を追いはらうためにはじめた。お盆の13日に行っている。
- ・中野城は、浅利氏の家臣がつくったこと。
- ・泣きつ面山の伝説。

大葛地区探検①

大葛小跡
映画館跡
大葛稲荷神社
金山墓地
金山ふるさと館

大葛在住の島田恭明さん、佐藤弘先生、金山ふるさと館館長の山口一光さん

- ・大葛という名前の由来は、まわり「大きな葛の葉」がたくさんあったことから。
- ・大葛小学校には、児童が580名もいたとき(昭和21年)があること。大葛には、映画館があったこと。
- ・大葛小学校の屋上にある天体望遠鏡は、県内で2番目の大きさであること。秋に星がよく見えること。
- ・大葛金山では、金だけでなく銀、銅、水晶など、いろいろな鉱石がとれたこと。
- ・大葛金山の金は、奈良の大仏(749)や京都の金閣寺(1397)を作る際に献上されたという言い伝えがあること。

大葛地区探検② 砂金採り体験学習

高橋教育長から
大葛に金ができただけ理由、金の性質を学ぶ

- ・2500万年前の大葛は、海の底だったこと。金は火山の力でできたこと。
- ・高橋先生からいただいた砂での練習では見付けられなかったが、自分でほった砂や石では見付けられなかった。でも、よい体験ができた。
- ・金は見付けられなかったけど、黄鉄鉱や水晶を見つけた。やはり、ここは鉱山があったところだと思った。
- ・金は1g5000円ととても高いこと。実験で水銀を持った時とても重たかったが、金はそれよりも重かった。
- ・金は鉄とちがって、100年以上川の底に沈んでいてもさびないこと。

学習のまとめ 学習発表会での紹介

4 ふるさと学習②「4年社会 山ろくに広がる用水」ー郷土の先人を学ぼうー

(1) 学習の流れ ○きょう土を拓く「山ろくに広がる用水」 17時間の内4時間で実施

- ①大館市のおもな先人(10名)の業績についての紹介 2時間
- ②心に残った先人ランキング(3位まで)の決定と紹介 1時間
- ③秋田の先人(石川理紀之助)についての学習 1時間

※地域に県種苗交換会で農林水産大臣賞を受賞した方がいる。その方の紹介を導入した。理紀之助のすばらしい業績を紹介したかった。郷土の先人とも関わりがある。

(2) 紹介した先人、参考にした資料、児童の感想

1 大館市のおもな先人(10名)の業績についての紹介 2時間

小畑勇次郎 栗原吉右衛門 日菜弁吉 岩澤太治兵衛 島湯石一
荒谷桂吉 小松多治右衛門 野島多一郎 田中輝治 明石文治

参考にした資料

○小学4年社会科副読本「わたしたちの大館市」
○大館市ホームページ
生涯学習課・郷土博物館「大館の偉大な先人」
○「大館の人・事典」大館市の先人を顕彰する会編集

・ぼくは、戊申戦争で村が焼かれそうになったのを救った小松多治右衛門さんを選んだけど、ききんから人を助けるためにがんばった岩澤太治兵衛さんを選んだ○○さんの話を聞いてなるほどと思った。

・大館には、みんなのためにがんばったえらい人がいっぱいいた。自分たちの地区にもいてうれしかった。

・先人には、みんなのために自分のお金を使って活躍した人がたくさんいることがわかった。わたしも、少しでも近づきたいと思った。

・石川理紀之助さんの勉強をして、一緒にがんばった野呂多一郎さんをランキングに入れればよかったと思った。

5 実践を振り返って

- (1) 授業の中にワークショップ型の活動を取り入れることにより、学習意欲が高まり、積極的に参加するようになる。自分の考えを表現する場があり、それを受け入れてもらえる場があるからである。また、相互交流型の学びで、学級の人間関係づくりにも有効である。
- (2) 児童は地域についてよく知らないが、地域について知りたい・誇りをもちたいという気持ちをもっている。一方、地域には豊かな文化・自然が残っており、地域の方は伝えたいと願っている(しかし、残念ながら伝えられる人材が少なくなっている)。ふるさと教育には、後世の人々に各地域に豊かな自然・文化があったことを伝える使命がある。